

連載

「地震被害シミュレーション結果」について考える

第1回 地震発生!直後の避難について

このコラムでは、29年9月、30年10月に公表した「地震被害シミュレーション」の結果を踏まえて、改めて区の震災への取り組みや、区民、地域でできる備えについて分かりやすくお伝えします。
—問い合わせは、防災課へ。



区内の避難者数が10万人を超えるというシミュレーション結果が出たけど、一体どこに避難したらいいのかな？

区立小中学校など65カ所を「震災救援所」として指定するなど10万人超の避難者の受け入れに備えています。食料や水などの生活用品も各震災救援所に備蓄しているので、自宅での生活が困難になったら、まずは近くの学校に来てくださいね。



ほお～、学校なら分かりやすいし、何より10万人を超える避難者にも備えているんだね。

受け入れは可能ですので、まずはご安心ください。しかし、慣れない集団生活になりますので、自宅とその周辺の安全が確認できれば「在宅避難」という方法もあります。在宅避難でも震災救援所で救援物資を受け取ることができるんですよ。



区職員

震災救援所も安心だけど、住み慣れた自宅で生活ができるのなら助かるわ。でも、そうするには、被災しても自宅で安全に生活できるように考えておかないとね。

家具転倒防止対策、3日分の食料や懐中電灯、カセットコンロ等の準備など、日頃の備えが大切です。感震ブレーカーの設置も火災の防止に効果的です。準備の際には、冊子「杉並区の防災対策」等も参考にしてください。防災用品もあっせんしていますので、悩んだらぜひご相談くださいね！

次回
予定

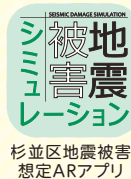
「ライフライン被害に対する備え」

CHECK!

地震被害シミュレーションの結果は、区ホームページ、防災課（区役所西棟6階）、市街地整備課（西棟3階）でご覧になれます。



「杉並区地震被害想定AR」アプリや「すぎナビ」からもシミュレーション結果を確認できます！**無料**



この電話、なんかあやしい? と思ったら…

「区役所をかたる還付金詐欺に注意！」



このように、不審なはがきや電話がありましたら、迷わず「振り込め詐欺被害0ダイヤル」へお電話ください。
図 危機管理対策課地域安全担当

振り込め詐欺被害0ダイヤル にご相談ください

● 区内在住の女性（70代）と同居の娘からの相談と担当者の対応

区役所職員を名乗る男から電話があり、「医療費の還付金」があるので「銀行のATM」へ行き「携帯で電話」するように言われた。電話を受けた女性は銀行に行く前に娘に連絡し、不審に思った娘がインターネットで調べた「0ダイヤル」に相談。担当者は「これは『還付金詐欺』である」ことを伝え、被害を未然に防ぐことができた。

ワンポイントアドバイス

区役所から医療費の還付金について、銀行のATMに行くよう指示することは絶対にありません。

杉並区振り込め詐欺被害0ダイヤル

24h 5307-0800



お知らせ 高齢や体が不自由などさまざまな事情で、「広報すぎなみ」の入手が困難な方には郵送します。申し込みは広報課へ。

世帯と人口
(住民基本台帳)
11月1日現在()は前月比

世帯数	日本人のみの世帯	307,045 (147増)	合計 321,810 (452増)
	外国人のみの世帯	12,185 (290増)	
	日本人と外国人の世帯	2,580 (15増)	

人口	男		女		小計 551,617 (410増)	合計 569,265 (740増)
	日本人	264,387 (248増)	287,230 (162増)			
	外国人	8,728 (170増)	8,920 (160増)			